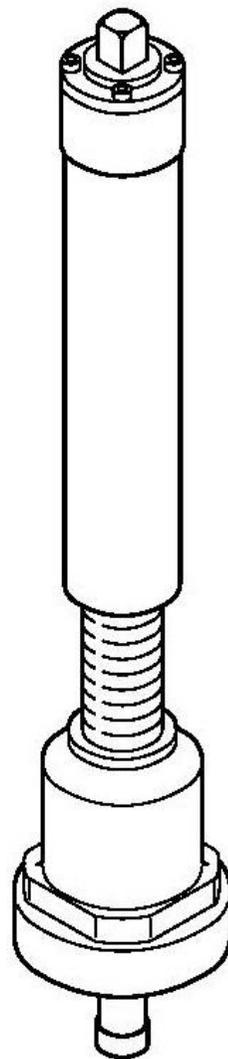


# 大肯式 防食用コア挿入機

## 取扱説明書



このたびは“防食用コア挿入機”をお買い上げ頂き誠に有難うございます。

ご使用に先立ち、必ずこの**取扱説明書を最後までよくお読みいただき**、本機の性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をもって、末永く安全に能率よくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は**お手元に大切に保管してください**。

### 安全に関する表示について

この取扱説明書では、この製品を安全にご使用いただき、ご使用になる方やほかの人々への危害と財産への損害を防ぐために、次のような表示をしています。

内容をよく理解した上で取扱説明書の本文をよく読み、正しくご使用下さい。



### 警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。



### 注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されることを示しています。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

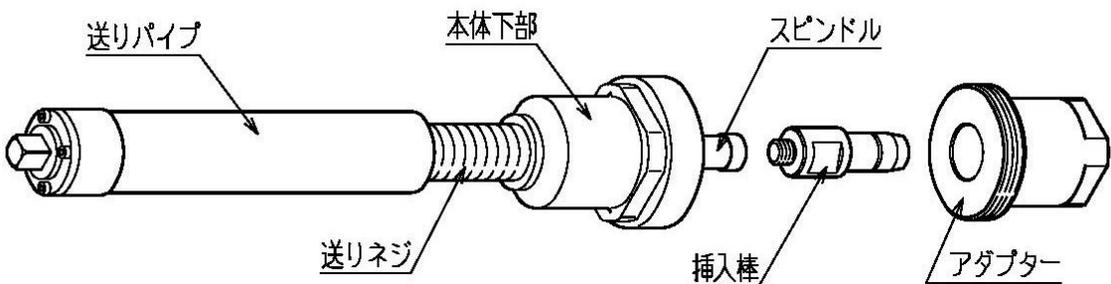
# OSAKI

## 安全上のご注意

### ⚠ 警告

- ご使用前に必ず各部の点検を行なってください。
- 足場をしっかりと確保して作業してください。  
無理な体勢や不安定な場所での作業は事故の原因となります。
- 各部の取付け・締付けは確実に行ってください。  
事故やけがの原因となります。
- 作業中本機に異常を感じた時は、直ちに使用を中止し、販売店または弊社営業所へ点検・修理をご依頼ください。  
無理な使用はけがや事故の原因となります。
- 使用後は十分なメンテナンスを行い、正しく保管してください。  
故障や事故の原因となります。
- 本機を修理する場合は、必ず販売店または弊社営業所へご依頼ください。  
故障や事故の原因となります。
- アダプター・挿入棒は、必ず弊社のものをお使いください。  
故障や事故の原因となります。
- 工具・補助部品等は必ず付属品又は弊社推奨品をお使いください。  
故障や事故の原因となります。
- 本機を分解したり改造することは絶対におやめください。  
故障や事故の原因となります。

### 各部の名称



## 使用方法

ここでは一般的な銅製コアの挿入方法を説明します。  
密着コアなどの特殊なコアについては各メーカーの説明書をお読み下さい。

### 始業点検

○本体・アダプターのパッキンにヘタリ・傷・割れ等の無いことを確認してください。

#### ⚠ 警告

パッキンが破損したまま使用しますと接合部分より水が出たり、コアが挿入できないことがあります。

○送りパイプが軽く回ること、スピンドルが空回りしないことを確認して下さい。

#### ⚠ 注意

異常が認められた場合は直ちに使用を中止し、販売店または弊社営業所へ点検・修理をご依頼ください。

### アダプターの取付け

サドル分水栓に指定のアダプターを取り付けます。50の一般分水栓はアダプター不要です。(分水栓の種類によっては特殊なアダプターが必要な場合があります。)



### ドリル・カッターの取付け

スピンドル先端に指定の挿入棒を取付けます。  
スパナ・レンチを用い確実に締め付けてください。

#### ⚠ 警告

アダプターやドリル・カッターの取付けは確実に行ってください。作業中に外れるとバルブが閉まらなくなります。



#### ⚠ 注意

スピンドル側はオプションの片口スパナ等（お手持ちのスパナやモンキーレンチ）を必ずスピンドルジョイント平面にかけてください。

#### ⚠ 注意

パイプレンチをスピンドルにかけないでください。シール部品の破損や故障の原因となります。

### コアの取付け

コアを挿入棒に差し込む。  
挿入棒外周のゴムリングにかぶさりしっかり固定されていることを確認して下さい。



## スピンドルの引き上げ

送りハンドルを反時計方向に回してスピンドルをいっばいに止まるまで引き上げます。



## 本体の取付け

アダプターにゴミ等がないことを確認しコア挿入機を分水栓にねじ込み取り付けます。

### ⚠ 警告

本体の取付けは確実にこなしてください。  
作業中に外れたりぐらついたりして事故やけがの原因となります。

### ⚠ 注意

本体の取付けは必ず付属のモーターレンチを下部平面にかけて行ってください。ネジ部にパイプレンチ等をかけないでください。故障の原因となります。



## コアの挿入

サドル分水栓の弁を全開にします。

### ⚠ 注意

サドル分水栓が完全に開いていることを確認してください。  
弁にコアが当たると挿入できなくなる場合があります。

最初は手で送りパイプを時計方向に回し静かに下げて行きます。(図A)

### ⚠ 注意

途中で抵抗を感じた時は挿入を中止し、挿入機を取り外してコアの確認を行なってください。



コアが穿孔穴に挿入されたあと、コアのツバが管表面に当たり止まる。(図B)

ハンドルを上部の角にセットし、これでさらに回す。このときに挿入棒がコア下部を押し広げています。(図C)

挿入棒が完全に下がるとコアに当たり止まりますので挿入完了です。(図D)

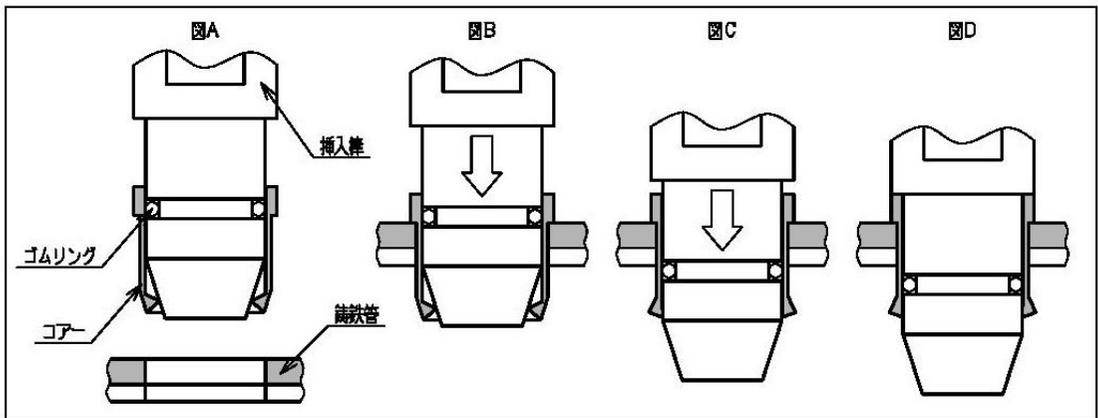
### ⚠ 注意

止まりましたらそれ以上無理に回さないでください。  
コアが変形したり、挿入機の故障の原因となります。

### ⚠ 注意

必ず付属のハンドルをご使用ください。  
柄の長いレンチなどで作業されますと、必要以上に力が加わり故障・故障の原因となります。





### 引き上げ・終了

送りパイプを反時計方向に一杯まで回し、完全に引き上げます。  
 サドル分水栓の弁を閉じ、挿入機・アダプターを外します。

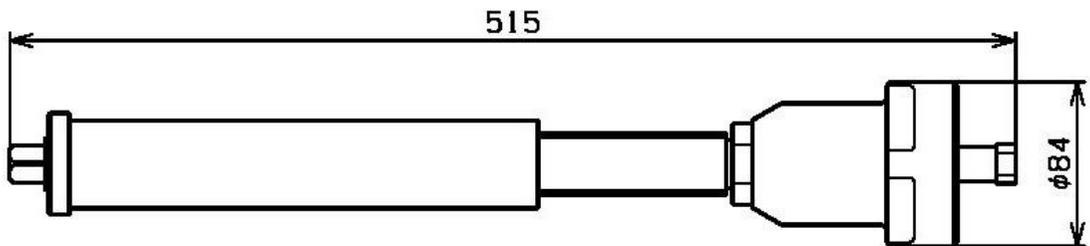
### お手入れと保管

使用後は本体からアダプター・挿入棒を取り外してください。  
 本体やアダプター等に付いた泥・砂・切粉・水気等をきれいに取り除いてください。  
 特に本体の送りネジや各接合ネジ部は念入りにおこなってください。  
 市販の機械用オイル等を塗布していただきますとより効果的です。  
 本体や各部品を収納箱に収め乾燥した場所に保管してください。

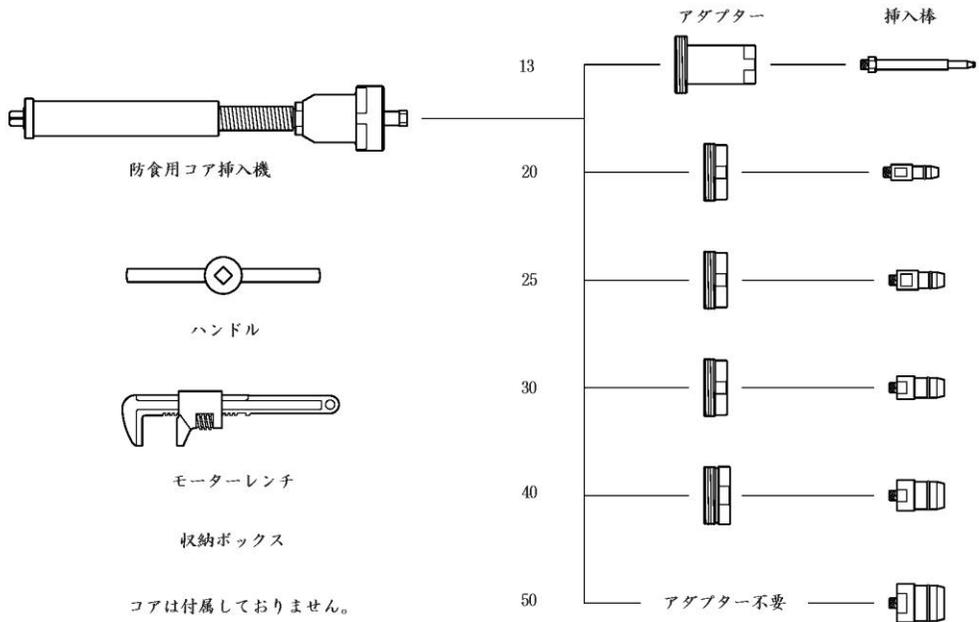
### 定期点検

各シール部品等はご使用にならなくても劣化してしまいます。  
 いつも安全に能率よくご使用いただくために、年一回の定期点検をおすすめします。

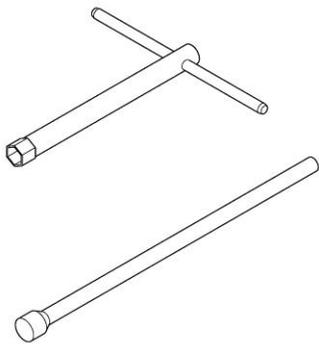
### 外形寸法



## システム組合せ図



## オプション工具



○ボックススパナ  
サドル分水栓ボルトナットの締め付け用。

○マグネットバー  
空管穿孔後の切粉除去に。



オオ サキ セイ ミツ  

**大肯精密株式会社**  
[www.osaki-precision.co.jp](http://www.osaki-precision.co.jp)

本社・工場	〒146-0081 東京都大田区仲池上2-19-6	Tel.03-3755-3311 (代)	Fax.03-3755-1918
関東営業所	〒146-0081 東京都大田区仲池上2-19-6	Tel.03-3755-3313 (代)	Fax.03-3755-1918
東北営業所	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1丁目7-30 エグゼクティブ上杉309号室	Tel.022-217-2360 (代)	Fax.022-217-2370
東海営業所	〒456-0004 愛知県名古屋市中区熱田区桜田町13-2 AiRA-2A	Tel.052-884-2350 (代)	Fax.052-884-2351
関西営業所	〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4-2-28 神戸駅前千代田ビル8F	Tel.078-361-3331 (代)	Fax.078-361-3533
九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-13-9 博多駅東 113ビル5F	Tel.092-292-4607 (代)	Fax.092-292-4608

